

**2月定例会市議会
報告版**

主な議案の審議結果をお知らせします

2月定例会市議会は、新年度予算を中心に、新病院問題などが審議されました。市長からは36議案が提案され、その内、共産党市議団は7議案に反対、29議案に賛成しました。主な議案の審議内容と採決についてお知らせします。



件名	共産党		公明党		新誠会				自民創政会		みらい野洲		保守協商					
	工藤義明	東郷正明	野並享子	矢野隆行	津村俊二	東郷克己	橋俊明	坂口重良	山崎敦志	岩井智恵子	立入三千男	荒川泰宏	北村五十鈴	鈴木市朗	山本剛	稲垣誠亮	田中陽介	長谷川崇朗
一般会計予算 現病院敷地の建替が「不可能」とされ破綻しました。にもかかわらず「駅前建設はない」ことを前提にした関連予算です。予算常任委員会では否決でしたが、最終日の本会議では反対議員していた議員が賛成に転じました。	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算 国から交付されるコロナ感染対策費で議員にタブレットを支給する予算(500万円)が計上されました。大事なコロナ対策予算は深刻な影響を受けている市民のために使うべきとして反対しました。	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
国民健康保険会計予算 国民健康保険は滋賀県全体で統一化されています。県は野洲市の国保税は「1万10000円引き下げが可能」と示しました。しかし、市は「国保会計は不安定」として引き下げを否定。これまで「不安定だから値上げ」してきました。これにより県下19市町で2番目に高い国保税(県の確定係数)になりました。	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険会計予算・保険料改正条例 向こう3年間の介護保険料(65歳以上)の改正が提案されました。ところが県下で「据え置き」などを行う市町がある中、野洲市は「5880円(年間:基準額)の値上げ」提案です。“保険あって介護なし”で、払いたくても払えない、保険料です。	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道会計予算 「コロナ禍から市民の暮らしを守る」として、2期4か月分の水道料金(基本料)の減免を実施すると公約した市長です。ところが、突然「1期2か月分」の実施をやめました。市民への約束違反であり公約違反のなにもでもありません。	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生活保護制度における扶養紹介を辞めることを求める意見書 生活保護申請をためらいさせる「親族への扶養義務照会」は国会で小池参議院議員への答弁で政府は「照会は義務ではない」と答弁。しかし、野洲市では実施しています。これをやめることを求める意見書です。	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症抑止のための社会的検査を求める意見書 感染拡大が広がり収束の兆しが見えません。PCR検査を医療機関や福祉介護教育施設での「社会的検査」を実施し、感染者の保護・隔離の対策を求めた意見書。国や地方自治体でも実施が広がっていますが意見書の賛成は共産党だけでした。	○	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●
米軍への「思いやり予算」はきっぱり中止を求める意見書 在日米軍駐留経費(思いやり予算)は年間約2000億円にもなっています。不平等な「日米地位協定」ですら「駐留経費は米国が負担」としています。にもかかわらず日本が負担していますが、法的にも根拠のない「思いやり予算」は中止することを求めた意見書です。	○	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
75歳以上の医療費窓口負担増の中止を求める意見書 菅政権は、75歳以上の医療費窓口負担を現行1割から2割にする法案を今国会に提出しています。対象者は約370万人。そもそも後期高齢者医療に国庫負担を減らしたのが原因です。高齢者の受診抑制につながる2割負担の中止を求めた意見書です。	○	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
補足給付の支給要件の見直し、高額介護サービス費の上限額の引き上げの撤回を求める意見書 介護保険で低所得者の施設入所者の食費・居住費を補助するのが「補足給付」です。これが年金収入が120万円を超える人では最高で2万2000円(月額)も負担強化しようとするものです。	○	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○